

各位

寒冷の候、平素は児童館事業にご理解ご協力誠にありがとうございます。

コロナ禍二年目が過ぎ、まだまだ油断は出来ませんが、少しづつ新しい生活の方を変え、工夫することが出来るようになつてきましたように思います。

マスク生活は変わらず続くのだろうと思いますが、ここ二年の間に出会った方の素顔を知らない・・・というのも変な感じですが(笑)さてマスクを外したら出会つても分からぬのではないかと少々不安にもなりながらマスクを外せる日が来るのを待ちにしています。

先日、学童っ子OBの高校生や大学生が、何人か児童館を訊ねて来てくれました。あいにく私が留守で会えなかつた人たちも居るのですが、ごめんなさいー会いたかつたです！又是非顔を見せて下さいね。待つてますよ！

「久しぶり！」とやつて来た大学生の四人組さんに、入つたら？と声を掛けると、「懐かしいなー」「天井低くー」「いやいやあなた達が大きくなつたのよ」(笑)なんて大笑いしながら、館内を見て回り、「懐かしくけん玉まだやつてんの？」「やつてみよー」「俺以外に上手い！」「オセロ・・・懐かしく」と懐かしいを連発で何だか嬉しくて嬉しくて・・・。あんなことしたなあ、こんなことがあつたなあー俺やんちゃしてたなあと思い出話に花が咲きました。最後はオセロで真剣勝負・・・でつかくなつたけれど、私にはあの頃の君たちが目の前にいましたよ。

「又来るわー」と元気に帰つて

行きましたが、そうか、児童館に

来ることはなくなつたけれど、

成長したみんなが、この地域に

居るんだなどと思うと感慨深いものがありました。又ばつたり出会える時が

来ると想いますが、彼らの顔は

マスクをしていても分かるかなア・・・?

新年も皆様にとって心穏やかに過ごせる一年となりますように・・・。

令和四年一月号のおたよりに添えて



写真掲載許可

いただいております

社会福祉法人 積慶園 京都市嵯峨野児童館

館長 飯吉昌子